

# 授業科目 保健医療福祉機器の世界

【担当教員名】 貝淵 正人	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

## 【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	○

## 【概要・一般目標：GI0】

医療と福祉と介護について考え、それをサポートする機器について体験により理解する。  
福祉機器を利用することで起きる問題点を理解する。  
保健医療福祉機器と ICF 中の環境要因の関係を理解する。

## 【学習目標・行動目標：SBO】

- 1 福祉機器の概説を述べるができる
- 2 ADL における福祉機器の有効性を述べるができる
- 3 具体的な福祉機器をあげるができる
- 4 福祉機器の操作を体験する
- 5 住環境の改善点を指摘することができる
- 6 福祉用具に積極的にさわりの操作や注意点を理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	現代の福祉機器概説 ICF 中の福祉機器	1	講義、担当：貝淵 正人
2	自助具とは 障害にどう適応させるか	1.2.6	講義、担当：貝淵 正人
3	排泄関連福祉機器	2.3.4	講義、担当：貝淵 正人
4	移動関連福祉機器	2.3.4.6	講義、担当：貝淵 正人
5	姿勢保持装置・杖	2.3.4	
6	住環境	5	
7	義肢・装具	3.4	
8	まとめ		担当：貝淵 正人

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	在宅介護ですぐに役立つ福祉用具の基礎知識	加島守	シルバー産業新聞社	2013・851円＋税
その他の資料	プリント			

## 【評価方法】

出席が 2/3 以上で、かつ定期試験の結果を 100 パーセントとして評価します。

## 【履修上の留意点】

さまざまな福祉用具をお見せしますので、積極的に参加するように